

平成30年度 4月定例会会議録

- ◎招集年月日 平成30年4月18日(水)
- ◎開催日時 平成30年4月27日(金) 午後1時30分～午後4時
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、田畑教育委員、原田教育委員
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 北原教育長、馬場教育次長、吉田学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、宮下スポーツ振興課長、中村指導主事、北澤指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会

2 委員長あいさつ

- ・北澤指導主事(あいさつ)

3 委員のひと言

- ・原田委員がストレッチ体操を指導

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長報告
- ・委員長より、伊那市史編纂は、重要かつ時間のかかる事業だが、選任された伊藤委員長、山口副委員長とも郷土史に造詣の深い方であり、委員会には、素晴らしい方に集ってもらったとの感想が述べられた。
- ・また、御嶽海の激励会では、上松町の荻原小学校に勤務したことを話すと、大変懐かしがって、「私が小学校5年生の時に、荻原小学校が上松小学校と統合になりました。」という話をしてくれた。大変ありがたかったとの感想が述べられた。
- ・委員長より、教育長報告は、常勤の教育長に教育業務の執行を委任しているため、報告義務があるのであり、報告を聞いて質問することが教育行政を活性化していくことにつながる、心がけていただきたいとの発言があった。

第2 協議事項

(1) 第24回進徳館の日について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・宮脇職務代理者、北原教育長の出席を確認

第3 報告事項

(1) 教育委員会・学校教育課関係行事予定について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、食育事業「暮らしのなかの食」の日程が脱落しているのではないかと
との質問があり、学校教育課長より、7月頃を目途に内山講師にお越しいただく、
実践発表会は秋から冬にかけて実施する予定で調整するとの説明があった。

(2) 教育委員会・生涯学習関係行事予定について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、行事計画、行事日程から、改めて、社会教育の重要性をうかがうこ
とができるとの感想があった。
- ・教育長より、「伊那能」では10月15日に、吉野直子さんが学校へ出向いて指
導して下さるということで、現場で直に能に触れる機会となりありがたいとの
発言があった。

(3) 教育委員会・スポーツ振興課関係行事予定について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
(質疑なし)

(4) 小中学校年間行事予定について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、昨年度中学の登山で課題があったが、今年はどうか質問があり、学
校教育課長より、昨年度、西箕輪中学校の2年生が、西駒山荘を使うには人数が
多すぎるという理由から宿泊場所を変更した経過があったが、今年度は収容可能
な生徒数で、同山荘を利用することになっているとの説明があった。

(5) 主幹指導主事の学校訪問計画について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長より、主幹指導主事学校訪問については、教育委員会と当該の学校長との
連名で派遣申請をしており、訪問時、主幹指導主事と懇談する際、教育委員が同
席することが欠かせないので認識しておいていただきたい。また、求められたら
意見を述べるのが大事だと思うとの発言があった。

(6) 伊那市小学生総合的な学習発表交流会の開催について

- ・資料に基づき指導主事説明
- ・委員長から、回を重ねるごとに内容が充実してきているが、更に充実していくた
めの意見交換はしているか質問があり、指導主事より、委員会で反省会を持ち、
良かった点改善すべき点について、話し合いをしており、11月の開催時期につ

いても「活動の中間部分での発表となるが、他校の子どもたちの発表を見たり意見を聞いたりすることで、以降の活動の参考となり、活動が活性化する。」といった意見を受け日程を組んだとの説明があった。

- ・委員長から、発表校に対する評価はしているか。「評価と指導の一体化」が言われるように、評価することによって、その学校の活動が活性化していくと思う。こういう点がよかったとか、こういう点をさらに伸ばした方がいいとか、そうした評価がないと流されてしまうのではないかと指摘があり、指導主事より、従来そうした評価をしてきていないので、今後、検討するとの説明があった。

(7) 生涯学習基本構想平成29年度達成状況について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、「文化財の保護活用」に関係して、地域の人口減少等によって、各地域の貴重な文化財の維持管理が、住民にとって大変重荷になってきている。例えば、熱田神社は、茅葺きの屋根が重要文化財に指定されているが、地域で維持・保護していく力がなくなってきており、行政の支援が必要になっている。市内の重要な文化財を洗い出し、計画的に改修の支援をしていくことをお願いしたいとの発言があった。
- ・また、「子どもが集う公民館」のキャッチフレーズの意識に欠けている公民館があるように思う。是非、公民館長会議等で扱い、最重要課題のひとつであることを自覚してもらいたいとの発言があった。
- ・委員長から、非常に広範囲に渡る計画で、目を通すのに時間がかかったが、よくまとめられているとの感想が述べられた。

(8) 信州伊那中尾歌舞伎後援会（仮称）設立について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、社会教育委員には是非応援してほしい、後援会にも大勢入っていただきたいとの発言があり、生涯学習課長より、当日参加も依頼してあり、会場の中尾座に入りきれない観衆のために、長谷公民館でのパブリックビューイングも計画しているとの説明があった。
- ・委員長より、あさつての公演に向けて、寒中の2月から富県公民館を会場に稽古が始まった。勤務終了後6時半ごろから、1時間程度演目の通し稽古の様子を見せてもらったが、役者のみなさんが大変な努力をされ、4月29日が迎えられる。そうしたことを是非深く認識しておいてほしい、役者のみなさんの努力に敬意を表したいとの発言があった。

(9) イーナちゃんウォーキングカーニバル2018について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
- ・委員長から、カーニバルへの参加状況を問われ、スポーツ振興課長より、現在、65組、276人が申し込んでおり、最終的に300人程度の参加を考えている

との説明があった。

(10) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

6 閉 会